

いながだて

西小学校6年 葛西健佑さん 書

10 2010 第656号

田舎館中学校 創立50周年記念式典

9月19日、田舎館中学校創立50周年記念式典が、関係者・在校生出席のもと同校体育館で行われました。創立50周年記念事業実行委員会の白戸均委員長は式辞で「この学舎で勉強する子どもたちが新たな歴史を刻んでいくことを切に願う」と述べ、同校卒業生原子千秋さんがボーカルを務めるバンドG:+による記念ライブ等も行われ、盛大に祝福されました。

今月のおもな内容

- 村議会9月定例会……………2
- 田んぼアートが
NYタイムズ紙に……………4
- 第18回稲刈り体験ツアー……………6
- 話題いろいろ……………7
- 広域連合だより……………11
- お知らせ……………12
- 戸籍の窓……………14

広報の早期配布にご協力をお願いします。



式辞を述べる白戸均実行委員長



50周年を記念して全校生徒で作成された校歌額



歴代校長・歴代PTA会長・長年勤続者・功労者への感謝状贈呈



G:+による記念ライブ

村議会9月定例会

9月2日から10日まで第3回田舎館村議会定例会が開かれました。6日には相馬繁議員、阿保淳之進議員が一般質問を行いましたので、主な内容を要約してお知らせします。

可決された主な案件

予算関係

- ・平成22年度田舎館村一般会計補正予算
- ・平成22年度田舎館村国民健康保険特別会計補正予算
- ・平成22年度田舎館村老人保健特別会計補正予算
- ・平成22年度田舎館村後期高齢者医療特別会計補正予算
- ・平成22年度田舎館村介護保険特別会計補正予算
- ・平成22年度田舎館村下水道事業会計補正予算

条例関係

- ・田舎館村消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例

人事案件

- ・田舎館村教育委員会委員の任命について
(大袋・葛西 僚氏が任命されました)

村議会一般質問

相馬 繁 議員

①雇用状況と村内誘致企業への対応について
問 (ア)村民の失業状況は。
問 (イ)村民の求職状況は。
答 (村長) 厳しい状況であることは認識していますが、村民の状況は把握できないのが実情です。
問 (ウ)村内誘致企業の本村在住者雇用率13.5%をどのように受け止めているか。また「誘

致企業会等に働きかけていきたい」と答弁した成果は。
答 (村長) 雇用率が少ないことに驚いています。成果については少しでも改善されるよう努力していきたいです。
問 (エ)誘致企業に村民の雇用に関するトップセールスを行う考えはないか。
答 (村長) 時期等を考慮して考えたいです。
問 ②消防の広域化について
答 (村長) 県の計画は8市町

村体制で平成25年4月の広域化を目指しています。津軽地域消防広域化推進協議会を組織し、基本的事項や所掌事項の調査等を行い、黒石地区消防事務組合を構成する黒石市と協調・調整したいと考えます。
問 ③小学校統合後の廃校利用法について
答 (ア)田舎館小学校利用法は。
答 (村長) 議員の皆様にお諮りして検討したいと考えます。
問 (イ)光田寺小学校利用法は。
答 (村長) 校舎・体育館は廃校後も光田寺地区の避難場所として指定したいと考えています。有効な譲渡先、賃貸先があるとしても、体育館は一般開放並びに災害時は避難場所として利用できるようにと考えており、議員の皆様にお諮りして譲渡先及び賃貸先に交渉したいと考えています。グラウンドは、サッカーの練習グラウンドとして利用することとしています。

問 ④農業者個別所得補償制度と米豊作予想について
答 (ア)固定額の村の試算は。
答 (村長) 合計約3億3千370万円になると予想しています。
問 (イ)米価下落幅に応じた変動額の支払対応と段取りは。
答 (村長) 本年の作況指数を考え合わせれば、本年産米は過去3年間の標準価格を下回る事が予想され、下回った場合、変動額が22年度内に交付予定となっています。
問 (ウ)制度未加入者の分析と今後の対応は。
答 (村長) 転作未達成と、補償が少額で手続きが面倒なことが考えられます。来年度はさらなる加入促進を図り、転作達成を促進したいです。
問 (エ)来年の見通しは。
答 (村長) 本年度の事業効果、運営等を検証した上で本格実施するものと考えております。
問 ⑤本年度の地方交付税について
問 (ア)普通交付税7.5%増の要因は。
答 (村長) 財政力の弱い市町村等に手厚く配分したものと受け止めています。
問 (イ)臨時財政対策債の決定額をどのようにみているか。

問 (イ)固定額の村の試算は。
答 (村長) 合計約3億3千370万円になると予想しています。
問 (イ)米価下落幅に応じた変動額の支払対応と段取りは。
答 (村長) 本年の作況指数を考え合わせれば、本年産米は過去3年間の標準価格を下回る事が予想され、下回った場合、変動額が22年度内に交付予定となっています。
問 (ウ)制度未加入者の分析と今後の対応は。
答 (村長) 転作未達成と、補償が少額で手続きが面倒なことが考えられます。来年度はさらなる加入促進を図り、転作達成を促進したいです。
問 (エ)来年の見通しは。
答 (村長) 本年度の事業効果、運営等を検証した上で本格実施するものと考えております。
問 ⑤本年度の地方交付税について
問 (ア)普通交付税7.5%増の要因は。
答 (村長) 財政力の弱い市町村等に手厚く配分したものと受け止めています。
問 (イ)臨時財政対策債の決定額をどのようにみているか。

問 (イ)固定額の村の試算は。
答 (村長) 合計約3億3千370万円になると予想しています。
問 (イ)米価下落幅に応じた変動額の支払対応と段取りは。
答 (村長) 本年の作況指数を考え合わせれば、本年産米は過去3年間の標準価格を下回る事が予想され、下回った場合、変動額が22年度内に交付予定となっています。
問 (ウ)制度未加入者の分析と今後の対応は。
答 (村長) 転作未達成と、補償が少額で手続きが面倒なことが考えられます。来年度はさらなる加入促進を図り、転作達成を促進したいです。
問 (エ)来年の見通しは。
答 (村長) 本年度の事業効果、運営等を検証した上で本格実施するものと考えております。
問 ⑤本年度の地方交付税について
問 (ア)普通交付税7.5%増の要因は。
答 (村長) 財政力の弱い市町村等に手厚く配分したものと受け止めています。
問 (イ)臨時財政対策債の決定額をどのようにみているか。

答 (村長) 財源不足額及び財政力を考慮して算出する方式を導入したためと考えます。

問 ⑥本村の行政諸点について
答 (村長) 本年度の除雪計画と新規路線は如何か。

答 (村長) 朝の通勤時には作業を終える体制を考えています。新規路線はありませんが、弘南黒石線跡地・川部堂野前線の一部供用区間の全線開通に伴う川部境森間の千300mが増となります。

問 ①期日前投票を庁舎エントランスホールに移しては。

答 (選挙管理委員長) 現在は庁議室を利用していききたいと考えます。

問 ②ドクターヘリが稼働しているが、受け入れ状況は。

答 (村長) 平成22年7月現在までは利用実績はありません。
問 ③平成21年度の緑化推進事業の状況は。

答 (村長) 平成21年度は緑化推進緑の募金事業で、小中学校と2集落が環境整備事業に取り組んでいるほか、農地水保全会では、道路残地への花壇整備等に取り組んでいます。

問 ④交通災害共済の加入促進策と見舞金支払実績は。

答 (村長) 部落会・交通安全母の会等において加入促進を図っていきます。支払実績は、21年度は26件288万円で22年度は6件20万円です。

問 ⑤稲わらの有効利用の周知とわら焼き防止啓発はどのように行うのか。

答 (村長) 広報等で啓発していききたいと考えています。

問 ⑥多重債務相談の体制は如何か。

答 (村長) 顧問弁護士と連絡を密にし、他町村の状況も検証して取り組みたいです。

問 ⑦今後の新型インフルエンザ対策は。

答 (村長) 国、県の動向を見て検討したいと思えます。

問 ⑧資源回収常設場を垂柳公民館と大根子公民館に設置する考えは。また増設に県の補助金等を活用しては。

答 (村長) 9月中旬に前田屋敷老人福祉センター、川部ふれあいセンターに設置されますが、役場を含めた3カ所の状況を見て検討します。県等の

補助金については、村は対象外と思われれます。



役場駐車場に設置されている資源回収常設場

阿保 淳之進 議員

問 ①指定管理者の認定について
答 (村長) 今後の選考過程をどのように考えているか。

答 (村長) 平成18年度に指定管理者制度に移行した4施設が、5年間の指定管理期間を終え更新する時期になりましたが、田舎館村の公の施設の指定管理者の指定等に関する

条例第六条によると、指定管理者を公募することができるとされております。指定管理者を公募するのか、現指定管理者に引き続き管理運営をお願いするのか決断する時期であると認識していますが、各施設の利用者及び村民へのさらなるサービスの向上と指定管理費用及び指定管理収入等を総合的に勘案していききたいと思っています。

問 ②定期予防接種について
答 (村長) 日本脳炎の予防接種については、積極的な勧奨を差し控えることとしていますが、今般接種できなかつた第1期(生後6ヶ月から生後90ヶ月に至るまでの間にある者)に対して、積極的な勧奨を行うこととされました。

平成22年度においては3歳に対する初回接種の実施を予定していますが、詳細については関係機関の調整を待つて速やかに対応したいと考えています。

The New York Times
INTERNATIONAL

MONDAY, JULY 26, 2010

田んぼアートが NYタイムズ紙に!!

我が村が誇る田んぼアートが日本を飛び出し、アメリカのニューヨークタイムズ（7月26日付）紙面で紹介されました！紹介文の全訳を掲載します。



田舎館村（日本）—約20年前、元村役場の職員、花田耕一氏は当時の村長から田んぼとりんご畑しかないこの東北の小さな村に、何とか観光客を呼び寄せる方法を考えるという変わった命令を受けた。

寡黙だが誠実な花田氏は何カ月も知恵を絞った。そしてある日彼は、小学生が学校行事で田植えをしているのを目にした。小学生たちは2種類の稲を使っていた。一つは濃い紫色の稲で、もうひとつは明るい緑色の稲だった。そのとき、田んぼに様々な色の稲を植えて、文字や絵を創りだすのはどうかという考えが浮かんだ。

「こんなに成功するとは思わなかった」と彼は言う。

結果として、現在それは田んぼアートと呼ばれるようになり、田舎館村は有名になった。1993年以降、毎年、村民はキャンバスの代わりに田んぼを、絵の具や筆の代わりに生きた稲を使って絵を創造している。田んぼアートは、徐々に色数も増え、より大型化し複雑な絵へと進化を遂げて、メディアの注目と多くの者の好奇心を駆り立てている。

人口8,450人の小さな村の静かな通りに、昨年は17万人以上の観光客が押し寄せた。そのため、交通渋滞も発生し、生きた芸術を見るために何時間も待つという事態が起こった。

確かに、この田んぼアートは高い技術力、綿密に計画された完璧主義、古来から引き継がれてきたお米への愛情を備えた日本人にしか創造出来ないことかもしれない。今年の弁慶と牛若丸の戦いの絵を創るために、新たに開発された濃い赤色、黄色、白色の3色の稲を使い、その稲を植えるためにコンピュータを使ってサッカー場サイズの田んぼに目印となる杭を約8,000本設置した。

「田んぼアートが非常に詳細なものになってきたので、観光客からは稲に絵の具で描いたのではないかと問われる。また、村民はわざわざ観光客がここまで足を運ぶことにとっても驚きながらも、何度でも見に来てくれるように手の込んだものを創っていくべきだと思っている。」と、鈴木孝雄村長は言う。

「ここには海も山もないけれど、お米なら十分にある。私たちは創意工夫をしながら観光産業を生み出していかなければならない。」と、さらに鈴木村長は付け加える。

田舎館村民は、田んぼアートが活気のない村に新しい活力を与えてくれるものと期待している。日本の多くの地方のように、この村も人口が減少、多額の負債と農業収入の減少により厳しい時代の中に陥っている。

「色々やってみたけど上手くいかなかった。でも、田んぼアートのおかげで村は再び一体感を持てるようになった。」と、そば屋経営の工藤久美子さんは言う。

しかし、これまでのところ、村は田んぼアートの成功を経済的な利益へと結び付けることは出来ていない。稲が成長し、田んぼアートが見られる夏、この村になだれ込むようにやってくる観光客はお金を落としていってほぐれない。

「観光客は田んぼアートを訪れ、すばらしいと感想を述べ、すぐに去っていくのです。」と、村役場の産業課長、福士勝彰氏は言う。

田んぼアートを始める前、この村の唯一自慢できるものと言えば、1981年に発見された約2,000年前の田んぼの遺跡だけだ。その発見は考古学的価値があり、田舎館村が人口もまばらな東北地方で、もっとも古い稲作地域のひとつと認識された。村は1980年代の高度経済成長期に、この発見を利用して太古の時代の雰囲気具备了アミューズメントパークを建設しようとした。その頃は、国が地方に対し、公共事業のための資金を惜しみなく支出していた時代である。

その後、この公共事業は途絶え、現在、その公園は雑草が生い茂り人気もまばらだ。その公園も一つの原因となり、村は年間予算の3倍である1億6百万ドルもの負債を負っている。

村民は、あまり予算のかからない田んぼアートが、この不況のご時世にはふさわしいと言っている。実際、田んぼアートは、借地料、田植えにかかる費用、維持費等をすべて含めた費用は年間35,000ドルにすぎない。しかも、田んぼアートを見に来た観光客からはお金をもらわず、寄付金を募っている。昨年の寄付金総額は7万ドルにも及び、田んぼアートに要した経費を賄うのに十分すぎる額が集まった。

ある日の午後のこと、役場の最上階にある展望室に大勢の人が押し寄せていた。眼下の田んぼアートを観賞できるその場所は、日本の古い城を模して建てられている。こういった田舎館の創意工夫は高く評価されている。

「日本のほかの地域でもこの精神を見習う必要がある」と、秋田から5時間かけて観光に来た元教員の佐藤まさ子さんは言う。

ボランティアが田植えをし、田んぼを維持している。今年の春には約1,200人が田んぼアートのために集まり苗を植えた。それは、1993年に花田氏と共に20人の役場職員が作った、岩木山を表現した2色のシンプルなデザインのものとは格段の違いだ。

「ここに至るまでに、田んぼアートは失敗を通して多くのものを学んできた。2003年のモナ・リザの絵は、最終的に妊婦のように見えた。というのは、モナ・リザの姿は、上部の幅が狭く、下部が膨らみすぎたからだ。」と、鈴木村長は言う。遠近法を利用するため、彼らは美術の先生にコンピュータを使って展望室から見たときに絵が正確な比率になるように稲を植える場所を明示してほしいと依頼した。

このアートをまねる人たちも現れた。少なくとも日本全国6カ所の地域で田んぼアートが作られている。しかし、田舎館村ほど手の込んだものではない。

国からの支出削減で自分たちの力で何とかうまくやっていかなければならないと感じ、村民は観光客が訪れることで利益を得る方法を考えなければならぬと言う。田舎館村商工会長の菊地洋三氏は「新しいお土産品を開発しなければならない」と言っている。日本で最近よく見られる、ゆるキャラの「こめこめ君」という米粒の形をしたマスコットもある。

村長には更に壮大な計画がある。田んぼアートの数を増やしたり、観光客のために新しい施設を建て、さらにできる限り道端を花で覆い、田舎館村をアートの村にする構想を思い描いている。

「私たちは、経済的な恩恵は後から付いてくるものとして受け止めていた。しかし、その経済的利益がいかに重要かということを感じている」と、村議会議長の工藤榮治氏は言う。

ニューヨークタイムズ 国際版 2010年7月26日月曜日

田舎館ジャーナル 「村が稲の色彩で創りだす生きた芸術」

著 マーティン・ファクラー (ニューヨークタイムズ東京支局長)

訳 佐藤裕幸氏 外2名

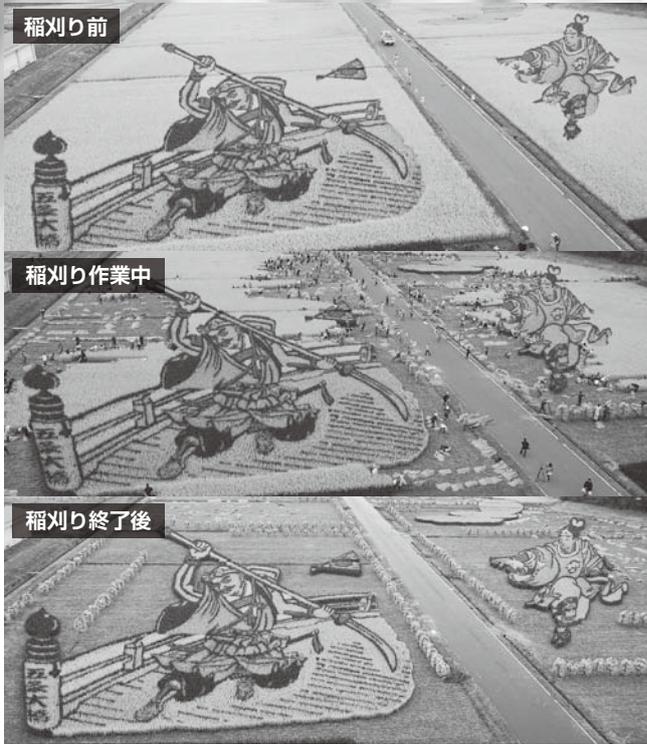
編集 浅利高年 (田舎館村役場産業課商工労働係長)

第18回稲刈り体験ツアー開催!

千人で植え、
14万人が訪れた

『弁慶と牛若丸』を
千人刈り!!

10月3日の田んぼの様子



5月30日、約1,000人が参加して行われた田植え体験ツアー。今年は『弁慶と牛若丸』に挑戦しました。その時植えられた苗は順調に生育して、7月中旬には立派な田んぼアートを浮かき上げらせ、今年も全国各地から訪れた約14万の観光客を楽しませました。そして9月に入ると稲は徐々に黄金色の穂を実らせ、無事に10月3日、「第18回稲刈り体験ツアー」を迎える事ができました。この日はあいにく雨交じりの空模様でしたが、昨年が続いて三村申吾青森県知事も駆けつけ、村内外から5月の田植えの時同様に約1,000人が参加して、『弁慶と牛若丸』を刈り取りました。参加者は家族と、友人と収穫の秋を満喫し、稲刈りが終わった後はおにぎりと豚汁を味わっていました。

今回収穫された米は、11月13日～14日に開催される「収穫感謝祭&シクラメン市」で、稲刈り体験ツアーで配布した引換券と交換で差し上げることになっています。



話題いろいろ

完成しました！



田舎館小学校の5年生が土器の野焼き体験をしました。7月に粘土で作製した土器を9月2日に木とわらと泥で作った土釜に火をつけて、3日には焼き上がった土器を土釜から取り出しました。中には割れたり、ひび割れたりしたものもありましたが、完成品はみなさんの個性があふれる、味わい深い作品でした。

青春の1ページ



8月28日・29日、田舎館中学校で「Beyond～これまでの館中を越えて～」をテーマに館中祭が開催されました。芸能発表会や音楽発表会、学級ごとのダンスコンテスト・寸劇発表等も行われ、生徒は日々の練習の成果を披露しました。会場内は終始大きな盛り上がりを見せ、見学に訪れた父母等も生徒達に拍手や声援を送っていました。

快挙！区間賞が2名



5区の区間賞 鈴木汐音さん

8区の区間賞 山本裕大さん

9月5日、第18回県民駅伝競走大会が青森市で開催され、5区では鈴木汐音さん（田舎館中2年）が、8区では山本裕大さん（田舎館中1年）が区間賞を獲得しました。喜びの声を聞くと、鈴木さんは「練習がきつかったけど、区間賞がとれて嬉しかった」、山本さんは「来年も区間賞目指して頑張りたい」と語ってくれました。

2年ぶりの開催です



昨年は新型インフルエンザの影響で中止された第27回児童館まつりが9月7日、中央児童館で2年ぶりに開催されました。開会式、自遊人によるレクダンスや各児童クラブによる一輪車演技が披露された後、焼きそば等の模擬店がオープン。くじ引きコーナーやバザーはひとときわ盛況で、親子で楽しいひとときを過ごしていました。

みなさん、お元気です！



9月16日、村民体育館で恒例の敬老会が開催され、村の70歳以上の村民、約300名が出席しました。今年は米寿が39名、金婚が35組顕彰され、鈴木村長は「今日の1日を楽しんで、来年も元気で参加されることを願っています」と挨拶しました。式典後、舞踊やカラオケ等のアトラクションが行われ、出席者を楽ませました。

秋といえば



田舎館保育園の「うんどうかい」が9月12日、克雪トレーニングセンターで開催されました。園児は競争や玉入れ等の競技に取り組んだほか、日頃から練習してきた和太鼓やお遊戯を披露しました。園児は応援に駆けつけた家族からの大きな拍手や声援を受けながら、元気いっぱい一生懸命、「スポーツの秋」を満喫しました。

秋の全国交通安全運動



秋の全国交通安全運動週間（9月21日から9月30日までの10日間）に伴って、9月21日に村長をはじめ交通安全母の会が役場前の県道で手作りのポケットティッシュ入れと眠気防止のガムとチラシを配布し、ドライバーへ安全運転を呼びかけました。秋の行楽による事故や日没が早まり、夕暮れ時の事故の多発が懸念される時期なので、みなさん安全運転を心がけてください。

こちらでも稲刈り



9月19日、「田園」未来を築く会が主催の弥生体験田稲刈りが総合案内所「遊稲の館」周辺で行われました。曇って、肌寒い中での稲刈りとなりましたが、この日は村内外から約100名が参加。稲刈りについて築く会会員から説明が行われた後、参加者は一斉に自分の田んぼに向かい、稲刈り作業へ。たわわに実った稲穂を見て笑顔をかべながら、丁寧に刈り取り、その後穂掛け作業を行いました。

2年連続優勝！



3回裏、平川拓也さん（川部・和泉）の本塁打！

9月26日、雨で延期されていた第51回田舎館村部落対抗野球大会の決勝戦が行われ、3年連続で川部・和泉と八反田の対戦となりました。川部・和泉は初回到3点奪うと、3回には平川拓也さんの豪快なホームラン。その後も川部・和泉は着々と追加点を挙げ、6対0で八反田を退けました。川部・和泉チームは2年連続の優勝です。

全員で374名です



村内3小学校が平成23年4月1日に統合されますが、それを受けて9月24日、西小学校に3小学校全員が集まり、「3小合同なかよし集会」が開かれました。一緒に演劇鑑賞をして、昼食をとり、ゲーム等をして互いに交流を深めました。最後の感想発表では「新しい友達と楽しく仲良くできてよかった」と笑顔で話していました。

収穫の喜びを体験



光田寺小学校（9月14日）

田舎館小学校（9月15日）



西小学校（9月24日）

村内の3小学校でも9月中旬から下旬にかけて、それぞれの学校田で恒例の稲刈りが行われました。5月に植えられた苗は関係者の協力のもとすくすく成長し、立派な稲穂を実らせました。予定していた稲刈りを雨で順延した小学校もあったものの、稲刈り当日は好天に恵まれ絶好の稲刈り日和に。児童は黄金色に実った稲穂に目を輝かせながら「ザック、ザック」と鎌で稲を丁寧に刈り取っていました。それにしても、高学年の稲刈り作業は本当に手際がよくてスピーディー。低学年が半分も刈り取らないうちに稲を全部刈り取ってしまったのには驚かされました。

校章のデザイン決まる



田舎館、西、光田寺の3小学校が統合し、平成23年4月1日に新たに開校する田舎館小学校の校章のデザインが決まりました。デザインを広く公募したところ、村内外から12人、24点の応募がありました。校章選考委員会で審査した結果、藤崎町在住の高木春雄さんの作品に多少変更を加え採用することになりました。なお、色彩については今後、校章選考委員会でさらに協議して決定します。

田舎館村教育委員会

国勢調査は みんなで描く 日本の自画像
(平成22年国勢調査標語)



国勢調査

国勢調査へのご回答はお済みですか!

ご回答の期限が過ぎています。調査票への記入、提出をお願いします。

- 国勢調査は、平成22年10月1日現在、日本に住んでいるすべての人及び世帯が対象です。
- 記入いただいた調査票は、封筒に入れて封をした上で調査員に渡してください。
- 平成22年国勢調査は、我が国が本格的な人口減少社会となって実施する最初の国勢調査で、日本の未来を考えるために欠くことのできない最新の人口・世帯の実態を明らかにする重要な調査です。
- 調査結果は、さまざまな法令で使われるほか、社会福祉、雇用対策、生活環境の整備など、私たちの暮らしのために役立てられます。

※回答がお済みでない場合や、万一、調査票が届いていない場合は、田舎館村役場総務課企画係(☎58-2111内線226)にご連絡ください。



封筒に入れる前に、調査票の記入に誤りがないか、確認をお願いします。

■ 国勢調査コールセンター

【電話】0570-01-2010

設置期間：平成22年10月31日まで
受付時間：午前8時～午後9時
(土・日・祝日も利用できます)

*全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。

【PHS・一部のIP電話】03-6738-6677

*PHS・一部IP電話の場合、所定の料金となります

総務省・青森県・田舎館村

ポイ捨てはやめよう!!

平成22年12月4日、いよいよ東北新幹線が全線開業します。
それに伴い県外から多数の観光客が来県するものと思われます。田舎館村へも田んぼアート等を見にいっしやる方が増えるように、また来年も来たいと思われるように、まずはきれいな村づくりからはじめましょう。



そのために、まずは道路、公園、河川等の公共の場所や私有地への空き缶、空き瓶、ペットボトル、たばこの吸い殻、紙くずなど等のポイ捨てはやめましょう。ゴミのない快適な生活環境づくりに皆様のご協力をお願いします。



平成22年度 秋の狂犬病予防注射実施日程表(田舎館村)

生後91日以上の子犬の所有者は、その犬に毎年1回狂犬病予防注射を受けさせなければいけません(狂犬病予防法第5条)。

狂犬病集団予防注射を実施しますので、各実施会場においてください。

なお、当日、狂犬病予防注射を接種できない場合は、必ず動物病院で狂犬病予防注射を受けてください。

☆集合注射料金：3,000円(注射料2,450円、注射済票交付手数料550円)

☆犬の新規登録料：3,000円(未登録犬の場合)

※犬の死亡などで現在登録犬を飼っていない場合や、飼い主や住所などの変更がある場合は、必ず厚生課環境衛生係(☎58-2111 内線152)までご連絡ください。



月日	対象地区	実施場所	実施時間
10月	高 樋	「高樋老人福祉センター」前	8:30~8:35
	十二川原	「十二川原集会所」前	8:40~8:50
	枝 川	「枝川会館」前	8:55~9:05
	垂 柳	「垂柳公民館」前	9:10~9:20
17日	田 舎 館	「田舎館地区総合研修施設」前	9:25~9:35
(日)	畑 中	「畑中会館」前	9:40~9:50
	八 反 田	「八反田会館」前	9:55~10:05
	大 曲	「大曲会館」前	10:15~10:20
	諏 訪 堂	「諏訪堂集会所」前	10:25~10:30
	大 根 子	「大根子公民館」前	10:35~10:45
	大 袋	「大袋農村婦人の家」前	10:50~10:55

月日	対象地区	実施場所	実施時間
10月	豊 蒔	「豊蒔公民館」前	11:05~11:10
	川 部	「JR川部駅」前	11:20~11:30
	川部・和泉	「川部公民館」前	11:35~11:45
17日	土 矢 倉	「土矢倉集会所」前	11:50~11:55
(日)	新 町	「新町集落広場(公園)」前	13:00~13:10
	堂 野 前	「堂野前会館」前	13:15~13:20
	前 田 屋 敷	「前田屋敷老人福祉センター」前	13:25~13:40
	境 森	「境森集会所」前	13:50~14:00
	東 光 寺	「東光寺会館」前	14:05~14:10
	二 津 屋	「二津屋会館」前	14:15~14:20
	高 田	「高田公民館」前	14:25~14:30

入札結果のお知らせ

下記のとおり入札結果をお知らせします。詳しい内容は総務課管財係で公表しています。

入札日	物品名	予定価格	落札価格	納入場所	業者名	納期
平成22年9月1日	財務会計システムハードウェア等一式	13,000,000円	10,993,500円	役場電算室他	(株)青森電子計算センター	平成22年12月15日

入札日	業務名	予定価格	落札価格	事業箇所	業者名	業務終了日
平成22年9月1日	田舎館小学校通学バス運行業務	24,000,000円	18,900,000円	田舎館村地内	(株)アップル観光バス	平成24年3月31日

入札日	工事番号	事業名	予定価格	落札価格	事業箇所	業者名	工期
平成22年9月13日	第12号	西小学校側溝等改修工事	4,246,200円	3,990,000円	大根子地内	(株)阿保建設	平成22年12月20日
平成22年9月13日	第13号	西小学校遊具等移設工事	995,400円	945,000円	大根子地内	東青建設(株)	平成22年11月10日

※ 予定価格及び落札価格は消費税込額です。

▷ 問い合わせ / 総務課管財係 ☎58-2111 (内線221)

津軽の話題満載

津軽広域連合だより

vol. 43

田舎館村

収穫感謝祭とシクラメン市

田舎館村の文化・芸能・産業を一堂に集めた恒例の「収穫感謝祭&シクラメン市」が開催されます。今年も村民体育館にシクラメンをメインとした約7千鉢が敷き詰められ展示即売されるほか、地場産品はもちらんのこと、さまざまな分野からの出店が予定されています。

また、文化会館、中央公民館では各種作品展示や芸能発表会なども行われる盛りだくさんのイベントになっています。

体育館一面に咲き誇るシクラメンは壮観です。開催期間中はぜひ、「収穫感謝祭&シクラメン市」に足をお運びください。

- ▽日時 11月13日(土) 11月14日(日)
午前9時～
- ▽場所 田舎館村民体育館
田舎館村中央公民館
田舎館村文化会館
- ▽問い合わせ
田舎館村産業課商工労働係
電話 58-21111 (内線143)



▲秋を彩るシクラメン

▼様々な展示が並ぶメイン会場



農作物即売会、各種サークル等の作品発表など、内容盛りだくさんの町民祭が開催されます。防災について学ぶ消防署のコーナー、子どもたちも大喜びのバトカー・白バイ展示コーナーや、図書館ボランティアアゲループによるおはなし会など多彩なイベントを企画しています。

大人から子どもまで楽しめる内容となっており、ご家族お誘い合わせのうえご来場下さい。

- ▽日時 11月27日(土)
11月28日(日)
午前9時～
- ▽主会場 板柳町多目的ホールあぶる
- ▽問い合わせ
板柳町総務課庶務係
電話 73-21111

板柳町

第37回町民祭

10・11・12月の主なイベント

	とき	イベント名	内容	問い合わせ先
10月	15日～17日	津軽の食と産業まつり	津軽の「食」と「産業」をテーマに地元生産品などを紹介。野外テント村や催しも多数	津軽の食と産業まつり運営協議会事務局 ☎33-4111
	22日～11月7日	弘前城菊と紅葉まつり	菊花・菊人形や秋季の草花が楽しめます。イベントも盛りたくさん	弘前市立観光館 ☎37-5501
11月	13日・14日	収穫感謝祭&シクラメン市	約7,000鉢のシクラメンを展示販売！その他たくさんのイベントが目白押しです	田舎館村産業課 ☎58-2111
	19日～21日 26日～28日	平川市民文化祭2010	市民による歌や踊りなどの舞台発表や個性豊かな作品展などが行われます	平川市生涯学習課 ☎44-1221
	下旬	ひらかわ地産地消フェスタ2010	地産地消をテーマに開催。特産品販売やさまざまな催し物が行われます	平川市農林課 ☎44-1111
	20日・21日	2010岩木文化祭	子ども芸能発表、伝統文化体験コーナー、作品展示、出店コーナーなど	中央公民館岩木館 ☎82-3214
11月	20日・21日	黒石りんごまつり	りんごを中心としたまちづくりを推進するために、りんごの即売会や市内事業者による産業展が開催されます	同実行委員会(黒石市商工観光課内) ☎52-2111 (内407)
	21日	第35回大鰐町文化祭【芸能発表会】	町文化協会会員などによる芸能発表会	大鰐町文化協会(会長:原田明悟) ☎48-2480
	27日・28日	第37回町民祭	町民の活動や成果を披露。農産物などの即売会や各種体験コーナーもあります！	板柳町総務課 ☎73-2111
12月	11日・12日	ひらかわねぶたまつり"冬の陣"	7台のねぶたが出陣するほか、多数のイベントが開催されます	平川市商工観光課 ☎44-1111
	19日	正月飾り講習会	古代米を利用した正月飾り作り体験はいかがですか	田舎館村総合案内所「遊稲の館」 ☎58-4689

津軽広域連合は、弘前市・黒石市・平川市・藤崎町・板柳町・大鰐町・田舎館村・西目屋村の8市町村により、要介護認定審査・障害程度区分判定審査ほか、各種ソフト事業などのさまざまな事務事業を共同で実施する特別地方公共団体です。

お知らせ



役場 ☎58-2111 (代表)

お問い合わせの際は、
各課の内線番号を
お伝え下さい。

住民課だよ

きぎます、とどけます、
あなたの声を行政に

10月18日(月)～24日(日)
は行政週間です

市民の皆様が、毎日の暮らしの中で、役所が行う仕事について、苦情や意見・要望などがあつた時に、もつとも身近な相談相手になるのは、行政相談委員(総務大臣が委嘱)です。

道路・河川、年金、医療保険、老人福祉、登記、労働基準、雇用保険、自動車検査・登録、窓口サービスなど、役所が行う仕事について

○苦情を直接申し出にくい
○要望はあるが、どこへ話をしたらいいかわからない
○制度や仕組みがわからない
○困りごとはあるが、どこに相談してよいかわからない
など、お気軽に相談ください。
相談は無料で、相談者の秘密は厳守します。

人権行政相談所開設

とき 10月18日(月)
ところ 役場一階相談室
じかん 午前9時～正午まで

▽問い合わせ/住民係

(内線163、164)
青森行政評価事務所行政相談課
☎01773413354
〒03000801

青森市新町2-4-25
青森合同庁舎4階

『社会保険料(国民年金保険料)控除証明書』が発行されます

～年末調整・確定申告まで

大切に保管を

国民年金保険料は、所得税及び住民税の申告において全額が社会保険料控除の対象となります。その年の1月1日から12月31日までに納付した

保険料が対象です。

この社会保険料控除を受けるためには、支払ったことを証明する書類の添付が義務付けられています。

このため平成22年1月1日から9月30日までの間に国民年金保険料を納付された方については、「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」が本年10月下旬から11月上旬に日本年金機構本部から送付されますので、年末調整や確定申告の際には必ずこの証明書(又は領収書)を添付してください。

また、10月1日から12月31日までの間に今年はじめて国民年金料を納付された方については、来年の1月下旬に送付されます。

なお、ご家族の国民年金保険料を納付された場合も、ご本人の社会保険料控除に加えることができますので、ご家族あてに送られた控除証明書を添付のうえ申告してください。「社会保険料(国民年金保険料)控除証明書」についてのご照会は、控除証明書のがきに表示されている年金事務所へお問い合わせください。

▽問い合わせ/保育年金係
(内線161)

建設課だよ

井戸水認定人数等の変更届を忘れずに!

下水道を利用し井戸水の認定を受けている方で、人数等に変更があつた場合は届出が必要で
井戸水を使用している方は人数や使用箇所によって料金が決定されます。家族の転入や転入、出生や死亡等で人数に変更が生じた場合は、速やかに届出して下さるようお願いいたします。

▽問い合わせ/下水道係
(内線233)

教育課だよ

平成23年度 田舎館村奨学生募集

教育委員会では、来年度進學予定及び在學中の方を対象に、奨学金を貸与する「奨学生」を募集します。(入學する學校が決まっていなくても、進學する予定であれば奨学生の手続きができます。追加募

弘前年金事務所
☎27-1337

集は行いませんでご注意ください。(奨学生願書などは教育課学務係に準備してあります。詳細について役場ホームページをご覧ください。)
○奨学金の種類 修学資金、入学支度金(金額は學校の種類によって異なります。)
○願書受付期間 11月1日から30日まで

【土・日・祝日は除く】
▽問い合わせ/学務係
☎58-23363

就学に向けて心配や不安はありませんか?

教育委員会では、就学についての質問や相談に応じております。

- ・新しい小学校ではどんな学校生活になるの?
- ・落ち着きがないからちよつと心配。
- ・友だちと上手く遊べないから心配。

・平仮名や数の勉強はやつておいた方がいいの?等々
また、来年度以降に就学するお子さんをお持ちの方々も相談等がありましたら、お気軽にお問い合わせください。

▽問い合わせ/学務係
☎58-23363

図書だより

図書室移転のお知らせ

村の図書室がメディアセンターから田舎館村中央公民館へ移転しました。どうぞご利用下さい。

- 開館時間 午前8時15分～午後8時
- 休館日 12月29日～1月3日

▷問い合わせ／中央公民館 ☎58-2250

新刊図書の紹介

- ・「今、63歳」 北野 武/著 ロッキング・オン
- ・「サッカーの教科書」勝利への裏ワザ188
鵜野 義嗣/著 サッカー技術研究委員会
- ・「家庭犬の医学」一家に一冊・獣医さんの本
川野 浩志/著 オクムラ書店
- ・「わかりやすさ」の勉強法 池上 彰/著 講談社
- ・「毎朝スッキリ起きる技術」 梶村 尚史/著 光文社
- ・「お父さんとオジさん」 伊集院 静/著 講談社
- ・「影法師」 百田 尚樹/著 講談社
- ・「子育てハッピーアドバイス」
大好き！が伝わるほめ方・叱り方
明橋 大二/著 1万年堂出版
- ・「脳を活かす子育て術」0歳からの宝探し
茂木 健一郎・須藤 珠水/著 PHP研究所
- ・「ヤンキー最終戦争」本当の敵は日教組だった
義家 弘介/著 産経新聞出版
- ・「県民性マンガ」うちのトコでは もぐら/著 飛鳥新社
- ・「ぼくのかえりみち」 ひがし ちから/作 BL出版
- ・「てぶくろがいっぱい」
フローレンス・スロポドキン/作 偕成社
- ・「ないしょのおともだち」
ビバリー・ドノフリオ/作 ほるぷ出版
ほか

「10月おはなし会」のお知らせ

▽日時 10月24日(日)
午前10時～

▽ところ 中央公民館2階
和会議室

▽内容 「秋-autumn」を
テーマとした絵本の読み聞

かせ ほか

※お話は村のおはなし会「ひ
まわり」の皆さんです。

▽参加料 無料

※どなたでも参加できます。

▽問い合わせ／中央公民館

☎58-2250

司法書士に相談してください！

相続・労働・成年後見・借金問題のこと

相続・労働トラブル・成年後見・借金問題について司法書士が無料で相談に応じますので、お気軽にお尋ね下さい。

日時 11月23日(火)

午前10時から午後4時まで

場所 アビオあおもり 2階 小研修室

〒030-0822 青森市中央3丁目17-1

主催 青森県司法書士会

共催 社団法人成年後見センター・リーガルサポート青森支部
青森県青年司法書士会

なお、相談は無料ですが、具体的な手続が必要になる場合には、別途費用がかかりますので相談員にご確認ください。また、上記日時以外でも青森県司法書士会総合相談センター(☎0120-940-230)へご連絡いただくと相談(有料)のご案内やご相談内容に応じたお近くの司法書士の紹介を行っております。

▷問い合わせ／青森県司法書士会

青森市長島3-5-16 ☎017-776-8398

あなたのヤル気、応援します

(むつ小川原地域・産業振興プロジェクト支援事業の募集)

(財)むつ小川原地域・産業振興財団では、地域の活性化や産業の育成振興のための事業に対し、必要な資金の助成を行ってまいります。

平成23年度の支援事業を次のとおり募集します。

- 対象事業 人材育成、技術開発、商品開発、試乗・販路開拓、観光開発、環境整備、スポーツ・文化に寄与する事業
- 助成金 対象事業費の5分の4以内
- 対象団体 産業団体、地域団体、任意の組織・グループ
- 応募方法 事業実施要望書に計画を添えて応募してください。
様式は、役場総務課企画係に請求するか、財団のホームページからダウンロードしてください。
- 応募締切 10月31日(日)

▷問い合わせ／(財)むつ小川原地域・産業振興財団

☎017-773-622

ホームページ <http://www.jomon.ne.jp/~mozaidan/>

「広域人材育成セミナー」開催のお知らせ

津軽広域連合では、起業支援ネットワークNICe代表理事増田紀彦氏を講師に迎えセミナーを開催します。起業・経営支援の専門家から、物事をさまざまな角度から見る力、活かす力、組み合わせる力のポイントを学んでみませんか。

日時 10月21日(木) 午後2時から午後4時まで

開催場所 弘前市立観光館(多目的ホール)

弘前市大字下白銀町2-1

テーマ 地域資源の見つけ方、活かし方、組み合わせ方
～「不」「負」「普」を「富」に逆転せよ!～

定員 80名

参加料 無料

▷問い合わせ／津軽広域連合

〒036-8276 弘前市大字樋の口町260番地4

☎39-7200 FAX 39-7201

FMジャイゴウエーブ
(平日お昼12時40分ごろ)
でも放送します!

Happy Birthday 10月生まれのおともだち



りょうせい
葛西 凌生くん

平成21年10月12日生
父…真琴さん
母…智美さん

「お散歩と電車が大好きなわが家のわんぱく王子です!」



じお
三上 慈央くん

平成21年10月19日生
父…享利さん
母…泉穂さん

「ニコニコ元気に育ってくれてありがとう♡」



ゆうか
須藤 悠佳ちゃん

平成18年10月21日生
父…雅樹さん
母…真弓さん

「パパが帰ると元気に『おかえりなさい』と出迎えてくれます」



あやの
西澤 彩乃ちゃん

平成21年10月23日生
父…祐さん
母…真紀さん

「いつもニコニコ可愛い笑顔と、いつもにぎやかな元気な笑い声で、いつも家族みんなが和んでいます」



※広報では、11月生まれのお子さんの写真を募集中です。(10月22日締切)
①氏名(ふりがな) ②生年月日 ③住所 ④両親の氏名 ⑤コメントなどを書いて、総務課企画係まで郵送またはご持参下さい。写真は後日お返しします。



まゆ
三上 愛釉ちゃん

平成21年10月6日生
父…貴大さん
母…沙弥香さん

「笑顔が似合うメゴ子です」



かほ
工藤 花穂ちゃん

平成18年10月10日生
父…真也さん
母…理香さん

「毎日元気いっぱい笑顔にいやされています」

人口と世帯

(平成22年9月末日現在)

男 4,022人 (+2)
女 4,412人 (+2)
計 8,434人 (+4)

世帯数
2,551世帯 (+3)

() は前月との比較

県内の交通事故概況 (9月末日現在)

() は1月からの累計	9月	
	県内	村内
件数	499 (4,197)	0 (41)
死者	10 (45)	0 (0)
傷者	600 (5,185)	0 (58)

本村に現住所のある方を掲載しております。敬称略

8/21〜9/20 受付

戸籍の窓

葛西 虹也(こうや)くん(祐也) 川部
阿保 奏哉(かなむね)くん(千春) 八反田
一戸 健吾 前田屋敷
山谷 由江 弘前市
千葉 戒 藤崎町
中山 和恵 東光寺
花田 和美 弘前市
斎藤 幸枝 大袋
工藤 正彦 黒石市
工藤 麻美 二津屋
阿保 静子(60歳) 大曲
佐藤 秀雄(81歳) 畑中
阿保 源藏(80歳) 大曲
鈴木 均(68歳) 和泉
二階 京子(87歳) 堂野前

お祝い申し上げます

ご結婚おめでとうございます



今月の題字

名前：葛西 健佑さん
学校：西小学校 6年
地区：大根子
一言：野球部では3番ショート。「中学校でも野球を続けたいです。残りの小学校生活での試合も頑張ります!」

あ と が き

タバコ的大幅値上げに伴い、10月1日から禁煙にチャレンジしています。周囲に「やめたの?」と聞かれると、「少し休んでいる」としか答えられない私。早く「やめた」と言えるようになりたいです。

10月の村税等の納期情報

村県民税	第3期
国民健康保険税	第4期
介護保険料	第4期
後期高齢者医療保険料	第4期

納期限は11月1日です

今月の粗大ゴミ収集日は
10月27日(水)です。